

平成23年9月27日

報道関係者各位

長期使用住宅部材標準化推進協議会

— 部材の標準化・共通化による、住宅の長期使用の確保を目指して —
長住協「CjK マーク」の運用を10月1日から開始
当初8品目からスタート、平成26年3月末に30品目登録目標

長期使用住宅部材標準化推進協議会（略称：長住協（CjK）、会長：西村 達志〈大和ハウス工業(株)代表取締役専務執行役員〉会員企業23社）では、住宅産業界で使用される様々な住宅部材の中から、長期使用対応部材の選定並びに標準化・共通化の調査・研究・登録を進めております。

このたび、住宅用アルミサッシのクレセント、同戸車、ドア錠2種類、内部建具引き戸用戸車/レール、キッチン用・洗面化粧台用スライド丁番、キッチン用台付きシングル湯水混合水栓、平形屋根用スレートの8品目の登録が完了し、長期使用対応部材のシンボルとして商標登録した「CjK マーク」の運用を10月1日より開始いたします。

●「CjK マーク」の運用方法

この8品目における「CjK マーク」は、本協議会の会員が貼付するなどして使用することが可能です。また、本協議会は、Webサイトに8品目の基準書（対象製品名、標準（共通化）の部位、寸法・形状、表示方法、特記事項を明記したもの）と、業界関係者および一般消費者の皆様にも幅広く認知していただくための資料を掲載し、「CjK マーク」の適正な運用を図っていきます。

これにより、該当部材の認知力アップを図ると共に、本協議会会員企業はもとより、広く住宅産業界で該当部材の活用および「CjK マーク」の利用の活性化をはかり、住宅の長期使用の確保を目指します。

●将来の展望

平成26年3月末時点での登録累計目標が30品目を確保する計画で活動していきます。

●長期使用対応部材とは

長期使用対応部材（CjK 部材）とは、メンテナンス用交換部材を長期的に供給することを目的としたメンテナンス性に優れた部品・部材です。住宅は長く住み継ぐものという理念を実現するため、住宅部品、部材の標準（共通）化を推進し、その普及を図っております。

● 「CjK マーク」(商標登録済み)のデザイン



長期使用住宅部材標準化推進協議会の略称「長住協(CHOJUKYO)」の頭文字に、家と人のモチーフを加えデザインしたものです。“人”をイメージしたCjKの文字を“家”で包み込むことで、長期使用対応部材が使われた安心・快適に暮らせる家を表現しています。

● 長期使用住宅標準化推進協議会とは

平成20年7月1日、「長寿命住宅の基盤づくり」の実現を目指し発足。住宅産業及び建材・住宅設備等の関連企業23社が参画し、部材の標準化・共通化を目的とした調査・研究等を行い、住宅の長期使用の確保に寄与するものです。

<http://www.chojukyo.jp/index.html>

参加企業(50音順)

正会員

旭化成ホームズ(株)、エス・バイ・エル(株)、クリナップ(株)、
三協立山アルミ(株)、三洋ホームズ(株)、三和シャッター工業(株)、
住友林業(株)、積水化学工業(株)、積水ハウス(株)、大成建設ハウジング(株)、
大和ハウス工業(株)、タカラスタンダード(株)、TOTO(株)、
トヨタホーム(株)、パナホーム(株)、不二サッシ(株)、文化シャッター(株)、
ミサワホーム(株)、三井ホーム(株)、(株)LIXIL、利高工業(株)、
YKK AP(株)、

賛助会員

(株)コンサルテック社

(平成23年9月27日現在)

[本件に関するお問い合わせ先]

大和ハウス工業(株)東京支社内

長期使用住宅標準化推進協議会事務局長

大西 秀樹

電話03-5214-2880

定休日:土・日・祝

受付時間:10時~17時